

こんにちわ！

めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は、「飼料化リサイクルスタート」と「春の山菜」をご紹介します。

春のお彼岸を過ぎて、一気に春めいてきました。桜と入学式、新入生の姿を見ると季節が変わったことが実感されます。

(担当：斉藤)

飼料化リサイクルスタート

(株)香味小夜子様(みよし市)での飼料化リサイクルが4/1より始まりました。9t/月の野菜くずを、生ゴミ処理機で約900kg/月まで減量し、取り出された発酵生成物を再生利用いたします。生成物は飼料化施設の中部有機リサイクル(株)様に運ばれ、養豚の飼料としてエコフィードに生まれ変わります。

食品加工会社



(株)香味小夜子



野菜残渣投入



発酵生成物



畜産(豚)農家



エコフィード



飼料化施設

中部有機リサイクル(株)エコフィードセンター

豊田産業は、生ゴミ処理機の設置を通じて上記取り組みを創り上げました。

春の山菜

3月号の春を見つける散策記事に大変好評をいただき、再度3/22西尾市の里山に出掛けました。今回は山菜取りです。



まずは春の山菜の横綱、タケノコ。まだ時期が早く地上には出ていません。木漏れ日のあたる斜面を注意深く足で探るとほら、こんな感じ。初物です。あと1週間でタケノコ狩りのベストシーズン開始です。なお、実態は2時間でやっと8本。ヘトヘトに疲れました。

次は王様、タラの芽。摘みごろよりまだ早い微妙な時期です。天然のタラの木はトゲがびっしりで、別名「嫁たたき」！名前はすごいですが、両方とも間違いなく危険です。



最後は子供が嫌う代表、フキ。もうすでに30cmぐらいまで伸長。4月に入れば収穫が始まります。

春の里山はお日様のあたり具合で、芽吹きがまったく違います。もし、山菜取りに行かれるのなら、早い時期は日

のあたる南の斜面、を探して見て下さい。(地権者にはすべて了解を得ています。)